

## 「精華町文化財保存活用地域計画」(案) への パブリックコメントの実施結果について

### 【実施概要】

広く住民から意見を聴取し、計画に反映させるため、以下の通り意見募集を実施しました。

期 間：令和7年6月25日（水曜日）から7月25日（金曜日）まで

場 所：①精華町ホームページ及び精華町公式 SNS (X、Facebook)

②精華町役場内 生涯学習課窓口、精華町立図書館

③精華町内施設 むくのきセンター、かしのき苑

意見数：5件（個人 3）

No.	頁	意見・要望等	意見に対する町の考え方
1	10、 11	文化財について、古いものが対象のイメージでしたが、国立国会図書館関西館など、けいはんな学研都市精華町らしいものが対象となっていると思います。最先端の技術が生まれて、研究に関する交流が盛んなことは、地域の特色で学研都市に関わってきた人たちの努力の成果だと思います。 そういうものも大切に守ろうという考えが素晴らしいと思いました。	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。本計画案では、精華町という町の特色に沿ったものを目指しました。過去からの精華町の歩みをとらえるためには、古くから現在まで脈々と受け継がれてきた伝統的なものだけでなく、近代以降に新たに加わった学研都市などの要素も欠かせないものと考えています。今後も精華町の歴史文化の全体を意識して取り組んでまいります。
2	130	5つの方針のうち「直す・遺す・伝える」について、直す（修理する）ことも大切ですが、まずは文化財を遺すことが最も大切だと思うので、「遺す・直す・伝える」の表記がよいのではないかと思います。	5つめの方針の表記順は、「遺す・直す・伝える」に改めます。貴重なご指摘をいただき、ありがとうございました。
3	134	文化財のデジタルアーカイブ化を進めて若者にもアクセスしやすくしてほしい。	ご意見の内容は、「方針1-3 広める」に掲載した、文化財のデジタル化と公開の措置で取り組んでまいりたいと考えています。いただいたご意見を踏まえ、デジタルコンテンツを利用しながら、若年層にも精華町の宝ものを身近に感じてもらえるような取組を検討してまいります。

4	135	<p>地元の若者や子どもたちが文化財に親しめるプログラムを取り入れてほしい。</p>	<p>方針2「愛する・学ぶ・活かす」では、これまで歴史や精華町の宝ものに接する機会の少なかった層も含め、精華町の宝ものに接する機会を増やし、親しんでもらえるような取組を進めてまいります。いただいたご意見を踏まえ、精華町と深く関わる地元の若者や子どもたちが、精華町の宝ものに親しみを持てるようなプログラムを検討してまいります。</p>
5	135	<p>精華町の文化財は、観光客向けではないため町内外での認知度が低いという課題があると感じますが、昔から地域で大事にされてきて、観光向けにシフトしないことで厳かな雰囲気を守ってきたとも思います。</p> <p>今年、いごもり祭りを初めて拝見しましたが、地元の方々の参加が多く、また娘も興味津々でした。松明が燃えるときは、他地域での祭りと遜色ない迫力で感動しました。</p> <p>伝統を守るために観光向けにしないのは賛成ですが、認知度不足は担い手不足となってしまう可能性もあります。町内の子供たち、さらに言うと、新興住宅の親子に対して、精華町の素敵な文化を直接みる機会をつくるのが大切ではないでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。本町の文化財の特徴として、地域で守り伝えられてきて、現在も担い手の方々によって守られているものが多いことが挙げられるかと思えます。特に信仰に関わる祭礼・寺社等は、その性質上、必ずしも多くの人びとを歓迎できるとは限りません。一方で、ご指摘の通り、認知度不足は担い手不足にもつながります。全国的に担い手の減少が問題となる中、公開の必要性も認識しています。</p> <p>文化財の担い手の方々のご意向を第一にし、対話を深めながら、公開と非公開のバランスをとともに探り、文化財の保存と活用の問題を検討してまいります。</p>